

豊かさの創造とデジタル社会

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

デジタル化における効率化と新しい現実の創造は、社会革命と生活革命を現実へ有するものである。これらはさらなる未来を提案し、これらは豊かさの創造を与えるものである。

これらは新しい効率性と機能性の創造を IT 社会が有することにおいて、変化が存在するのである。これらは革命的な変化を社会と生活に与え、ビジネス社会における絶対的な潮流として、もはや固定した現実として否定できないのである。

これらは情報化した社会がその生活とともに、新しい現実の創出し、これら IT という現実の有する効率化が、19世紀の産業革命と同じ現実を有するのである。

これらは現状における遥かに大きな変化の正しい説明なのである。またこれら現実にはさらなる未来を模索しているのである。

これらは20世紀の信仰である、経済の発展が豊かさ創造するという真実に対して、異なる現実を今日世界は有しているのである。

これらはデジタル社会という現実とは異なる社会システムと生活サイクルを有することを意味するものである。

これらは社会と生活における新たなポテンシャルなのである。これらが豊かさの創造を行うことは必ず可能である。

これらは新しい未来という現実がさらなる豊かさを生むことができるのである。これらはデジタル社会への転換が、新しい社会と生活への転換を与えることは容易に予測できるものである。

現状のビジネス社会における高揚は、新しい未来の創造という彼らの新しい使命なのである。

これらは新たな豊かさの創造は、新たな生産性と効率化において実現できるものであり、これら現実が新たに創出する現実において、豊かさという現実が存在するのである。